

（仮称）浦安市まちづくりに関する条例の制定に向けたこれまでの取り組み

これまでの取り組み経過

年度	取り組み内容
平成29年度	・内田市長の第一期目の公約として「市政運営の規範となる自治基本条例を制定」が位置付けられた。 ・全国的な制定に関する概況の確認を行った。 ・市政に関する市民意識調査を実施した。
平成30年度	・制定の目的や意義など他市の事例調査を行うとともに、本市の既存条例との関連など、条例のあり方について検討し、基本的な考え方をまとめた。
平成31年度 (令和元年度)	・制定に向けた市民参加手法や庁内検討体制について検討した。 ・条例の制定などに向けた基礎資料とすることを目的として、市政に関する市民意識調査を実施した。
令和2年度	・市政に関する市民意識調査の分析を行った。 ・市民アンケート（Uモニ）を実施した。 ・「浦安まちづくり市民会議」を開催した。（第1回～第3回）
令和3年度	・「浦安まちづくり市民会議」を開催した。（第4回～第5回）

1. 市政に関する市民意識調査の実施・分析

（1）実施概要

総合計画策定の参考とするために行った平成29年度の市民意識調査と、今後のまちづくりおよび市政運営に活用するために行った令和元年度の市民意識調査の結果について、まちづくりに関する条例の制定に向けた視点から分析を行った。

（2）分析結果

「コミュニティ」や「市民参加」、「協働」については、市民の関心が希薄であり、意識をさらに高めるために、より一層の取り組みが求められる。まちづくりに関する条例の制定を通じ、市民意識の醸成等を図り、連携・協力のまちづくりを活性化していくことが必要になると考えられる。

2. 市民アンケート（Uモニ）の実施

（1）実施概要

- 登録者数：1,115人
- 実施期間：令和3年3月19日（金）～3月25日（木）
- 回答者数（回答率）：571人（51.2%）

(2) 調査結果

「将来どのようなまちにしたいか」や「今後のまちづくりに活かしたいソフト面」の両質問において、「安全・安心」に関連する回答が最も多い結果となり、市民生活の基本となる「安全・安心」に対するニーズは総じて高いものと考えられる。

また、「市民の権利」や「行政の役割や責務」の両質問においては、「市政情報」に関連する回答が最も多い結果となり、情報発信や情報公開を一層進めていく必要があるものと考えられる。

3. 浦安まちづくり市民会議の開催

(1) 実施概要

条例の前文や骨子案の参考とするため、会議を5回開催し、市民意見を聴取した。

会議は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、第1回は事前収録の講演の動画を配信し、第2回以降の市民会議はオンライン形式で実施した。

日程	内容
令和3年1月29日	第1回浦安まちづくり市民会議【動画配信】 「新しいコミュニティとまちづくり～基本条例の制定に向けて～」 千葉大学大学院社会科学研究院教授：関谷 昇 氏
令和3年2月20日	第2回浦安まちづくり市民会議（参加者80名） 「市民一人ひとりの幸せを思い描く」
令和3年3月20日	第3回浦安まちづくり市民会議（参加者66名） 「市民一人ひとりの幸せのために、浦安市の未来を思い描く」
令和3年5月22日	第4回浦安まちづくり市民会議（参加者55名） 「まちづくりにおける市民と市の役割等について」
令和3年6月26日	第5回浦安まちづくり市民会議（参加者52名） 「まちづくりにおける市民と市のつながり（連携・協力）について」 「浦安まちづくり市民会議を振り返って」

(2) 聴取した主な意見と条例への反映イメージ

- 海・河川の景観に関する意見が多く、前文に記載する市の魅力や特色として「水際線」に関する事項を盛り込む。
- コミュニティやコミュニケーションの充実に関する意見が多く、前文に記載するまちの将来像として、「つながり」や「多様性の尊重」などのキーワードを盛り込む。